

秋いろいろ



暑い夏を乗り切り、過ごしやすい秋がやってきました。
旅行、食べ物、スポーツ、芸術、読書など、秋はいろいろなことを楽しめる季節です。
今月の展示では、そんな秋にピッタリな本を紹介します。

四季のある日本ならではの

●『色の歳時記』

吉岡 幸雄／著 小林 庸浩／写真 清流出版

手間をかけずに大量に染められる化学染料ではなく、伝統的な植物染という技法を用いる染色史家・吉岡幸雄氏がつづる歳時記。色鮮やかに表現された作品 24 点も収録。小林庸浩氏が撮影した写真は作品がとても美しい。

食べるのも触るのも×

●『毒きのこ 世にもかわいい危険な生きもの』

新井 文彦／写真 白水 貴／監修 ネイチャー&サイエンス／構成・文 幻冬舎
秋はきのこのおいしい季節。しかし、食べても触ってもいけない、それは毒きのこ。ただ、そのメカニズムはいまだ解明されていないものも多い。この本では毒きのこ 43 点を不思議な生態とともに美しい写真で紹介している。「モチーフになった毒きのこ」、「毒きのこ」など7つのコラムも収録。

これのおかげで計画通りに目的地にたどり着ける

●『「時刻表」はこうしてつくられる』

時刻表編集部 OB／編著 交通新聞社

旅行やお出かけになくってはならないのは時刻表。現在の『JR 時刻表』の前身である『全国観光時間表』を交通新聞社が昭和 33 年に発刊してから約 60 年。印刷技術が発達するにつれて、制作工程は変わっても、間違いのないよう、利用者に正確な時刻を伝えるという使命感をもった編集部員が作成しているのは今も昔も同じ。編集部員ならではの仕事の裏側や秘話などが綴られている。これを読めば、交通機関を使ってお出かけすることがさらに楽しくなるかもしれません。

編集・発行：さいたま市立与野図書館

〒338-0002 さいたま市中央区下落合 5-11-11 TEL 853-7816

平成 28 年 10 月